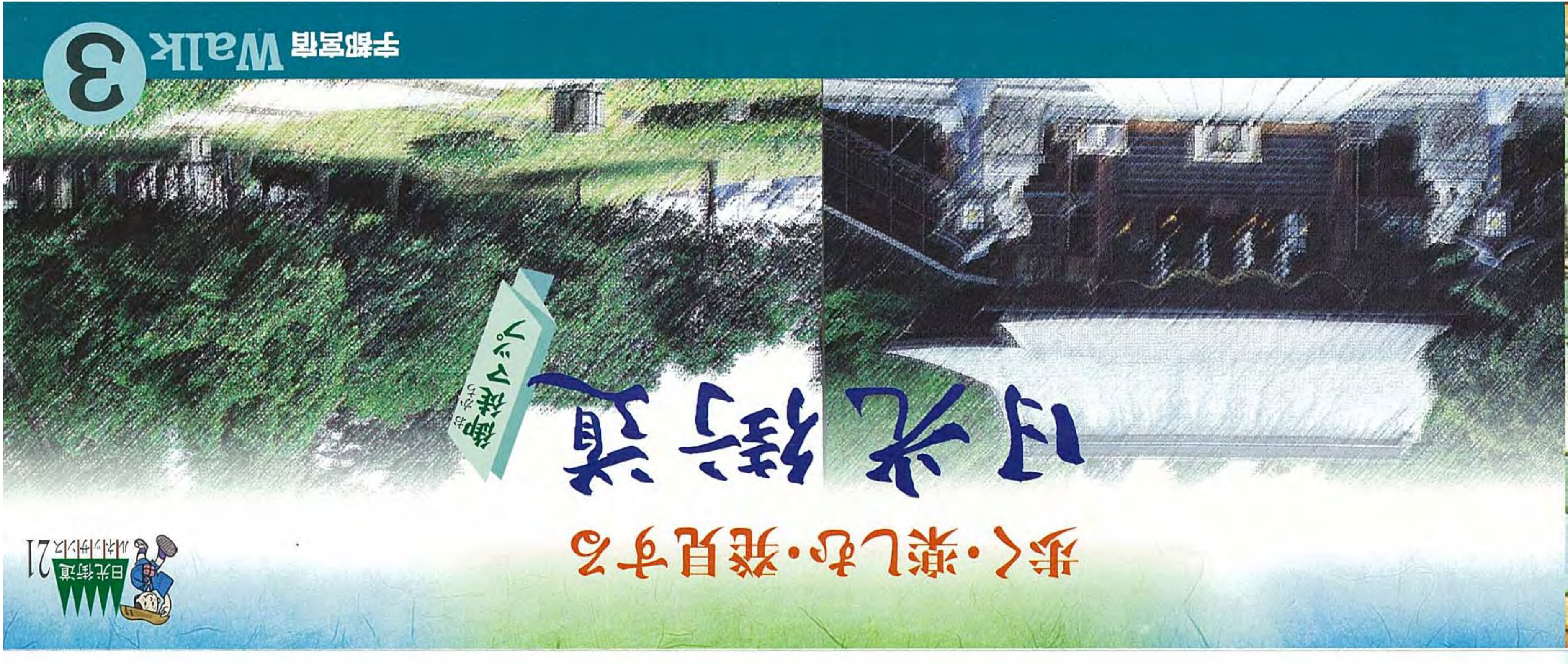


日光街道ルネッサンス21

歩く・楽しむ・発見する

日光街道

御徒（おかち）マップ

宇都宮宿 Walk 3

上戸祭町
157
119
国立病院前
松原三
松原1
星が丘2
桜2
宝の木
（児の手柏）
栃木県立美術館
宝勝寺
1 桂林寺
2 延命院
3 二荒山神社
栃木県庁
慈光寺
栃木県立図書館
本陣跡
伝馬町
池上町
東武西口
東武宇都宮駅
東武鉄道宇都宮線
松が峰1
宇都宮市役所
4 光琳寺
5 報恩寺
6 一向寺
7 宇都宮城跡
8 英巌寺跡
9 台陽寺
10 蒲生君平勅旌碑
11 不動堂
不動前
南宇都宮駅
JR日光線
JR東北本線（宇都宮線）
JR東北新幹線
4
35
西原
川田入口
12 江曽島の一里塚跡
一里
台新田
1:10,000
0 100 200 300 400 500m

「版本 日光道中絵図 宇都の宮」（栃木県立博物館蔵）

中世以来の歴史を誇る街道随一の宿場

宇都宮宿（うつのみや）

宇都宮は、宇都宮城の城下町であるとともに、宇都宮大明神（二荒山神社）の門前町、また日光街道・奥州街道の宿場町としても発展してきました。古くは平安末期の文書に「宇豆宮」（宇都宮）の名が見え、中世を通じて古奥州街道の宿駅が置かれていましたが、元和5（1619）年、城主となった本多正純が宇都宮城の城郭整備・拡張を行うとともに城下の町割も大きく改造、日光街道と奥州街道の分岐点もこのときに確定されました。この町割が現在の市街地の基礎になっており、その遺構は今も市内の至る所に見ることができます。

また、宇都宮は栃木街道や鹿沼街道、茂木街道、水戸北街道、真岡街道など脇街道の始点にもなっており、昔も今も交通の要衝として、北関東の一大中心地になっています。

① 桂林寺（けいりんじ）

応永3（1396）年の開山で、元和6（1620）年に現在の場所に移されました。境内には、蒲生君平、岡田真吾らの墓所があります。

② 延命院（えいめいいん）

境内の地蔵堂は享保年間（1716～36）の建立で、市内最古の木造建築物の一つです。また、ここは蒲生君平が幼少のころ学問を学んだところで「蒲生君平修学の寺碑」があります。

③ 二荒山神社（ふたあらやま）

下野一ノ宮と呼ばれる神社で、宇都宮大明神とも称されました。宇都宮の歴史はこの神社とともに歩んでおり、市中心部の祭りの多くは二荒山神社と深い関係があるのです。

行ってみよう！ 見どころいろいろ

栃木県立美術館

公立の美術館としては画期的な企画展を次々に開催し、注目を集めています。西洋画、日本画、版画、工芸など栃木ゆかりの作家の作品をじっくり鑑賞できます。JR宇都宮駅より関東バス「作新学院駒生行き」路線バス約15分、「桜通り十文字」下車。

行ってみよう！ 見どころいろいろ

栃木県立博物館

栃木県中央公園の中にあり、県の歴史・文化の流れと特色が一目でわかるように工夫された展示を楽しめます。JR宇都宮駅より関東バス「桜通り経由鶴田駅行き」「桜通り経由西川田駅行き」路線バス約20分、「中央公園博物館前」下車。

④ 光琳寺（こうりんじ）

慶長10（1605）年に現在の地に移された寺です。明治元（1868）年の戊辰戦争時に諸堂が焼失しましたが、境内には貞享5（1688）年に鋳造された鐘があります。

⑦ 宇都宮城跡

関東七名城の一つといわれ「釣天井」の伝説でも有名な城です。城郭は戊辰戦争で焼失し本丸跡だけが残っていますが、御本丸公園として市民の憩いの場となっています。

⑤ 報恩寺（ほうおんじ）

江戸時代初期と思われる美しい山門があります。奥平家昌の正室による寛永16（1639）年の開山といわれますが、鎌倉時代かそれ以前と見られる大五輪塔があることから、古くは別の寺があったとも考えられます。

歴史の小道

本多正純と釣天井事件（ほんだまさずみ と つりてんじょう）

歌舞伎や映画の題材にもなっている「釣天井事件」ですが、本当にあった話なのでしょうか？　この事件は、宇都宮城主・本多正純が日光社参から帰る将軍（家光）を、城内の部屋に仕掛けたからくり天井（釣天井）で暗殺しようとしたといわれるものです。もちろん、これは事実ではありません。元和8（1622）年、正純が宇都宮城を突然取り上げられ、出羽（秋田県）に流されてしまったことから生まれた創作なのです。

⑥ 一向寺（いっこうじ）

この寺の客仏である阿弥陀如来坐像は、世の中の吉凶異変が起こる前兆として汗をかくと言い伝えられることから「汗かき阿弥陀」と呼ばれます。国の重要文化財です。

⑧ 英巌寺跡（えいがんじ）

英巌寺は宝永8（1711）年に戸田忠真が宇都宮城主となった際に、越後高田から移築した寺でした。戊辰戦争で焼失し廃寺となりましたが、寺跡には戸田氏の墓碑が建てられています。

⑨ 台陽寺（たいようじ）

慶長10（1605）年に建立されました。かつては、この付近に多くの寺院が配され、宇都宮城下入り口を固める防御線の役割も果たしたといいます。

⑩ 蒲生君平勅旌碑（がもうくんぺいちょくせいひ）

明治天皇の命により、宇都宮藩知事の戸田忠友が明治2（1869）年に蒲生君平の遺功を追賞したものです。現在、市指定有形文化財になっています。

知ってなるほど！

寛政の三奇人・蒲生君平（かんせい がもうくんぺい）

林子平、高山彦九郎とともに「寛政の三奇人」といわれる蒲生君平は明和5（1768）年に宇都宮で生まれ、学者・尊王家として知られています。文化5（1808）年に著した『山陵志』は、畿内を中心とした天皇陵について文献と実地検証に基づいて考証した書です。古墳研究の画期をなす書として、その後の山陵復興運動にも影響を与えました。

⑪ 不動堂

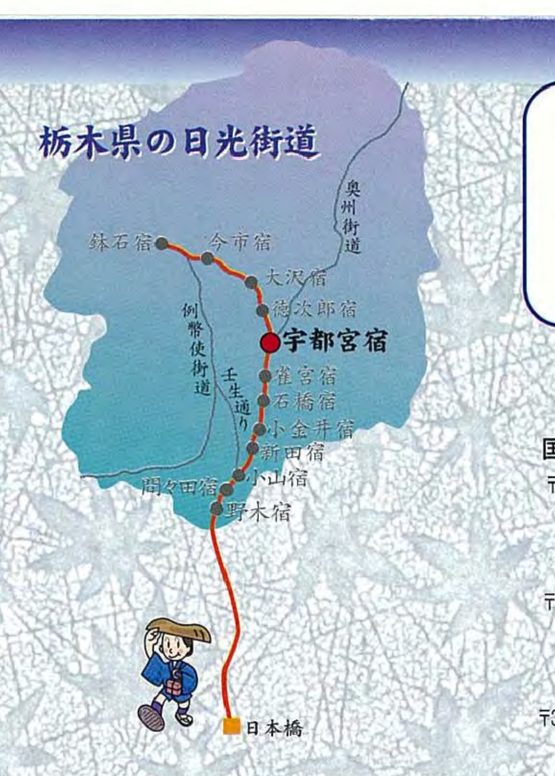
高さ約50cmの不動明王が納められ、この付近の地名の由来となりました。

⑫ 江曽島の一里塚跡（えそじま）

現在は塚の左右ともなく、かつてはJR東北本線（宇都宮線）が通るあたりに一里塚があったといわれますが、近くの交差点に「一里」の表示があります。江戸から26里目にあたります。

地域の皆さんといっしょに、みちづくり、まちづくりを進めます。

栃木県内の日光街道沿線自治体では、街道の歴史的遺産などの発掘・保存や文化の継承、歴史や文化を生かしたみちづくり、まちづくりを進めています。400年という時を超え、未来への夢をつなげる日光街道。ここ栃木県でも、地域の大切な文化を地域の皆さんといっしょに活力ある「みち」、魅力ある「まち」へ創造していきます。



栃木県の日光街道

鉢石宿
今市宿
大沢宿
徳次郎宿
宇都宮宿
雀宮宿
石橋宿
小金井宿
新田宿
小山宿
間々田宿
野木宿
奥州街道
例幣使街道
壬生通り
日本橋

■宇都宮宿までのウォーキングお疲れさまでした。
「マップWalk4」は雀宮宿から石橋宿までです。ご利用ください。

日光街道ルネッサンス21推進委員会
栃木県商工会議所連合会、栃木県観光協会
日光東照宮、下野新聞社、NHK宇都宮放送局
日光市、今市市、宇都宮市、石橋町、上三川町
南河内町、国分寺町、小山市、野木町
国土交通省宇都宮国道事務所、栃木県

【お問い合わせ】

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課
〒321-0931 宇都宮市平松町504 TEL.028－638－2185

栃木県土木部道路建設課
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 TEL.028－623－2409

宇都宮市建設部道路建設課
〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5 TEL.028－632－2222（代）

2002.8.01